

「右東海道いせみち 左中仙道美のぢ」と刻まれた道標が建つこの辺りは、かつて草津宿の追分見附と呼ばれ、街道を往來する飛脚の元締めから寄進された石造りの常夜灯が今も残されています。

日本に現存する最大級の本陣 【国指定史跡草津宿本陣】



草津宿本陣

草津宿のシンボル、それが草津宿本陣です。平成の大修理を経て、当時の姿そのままに甦りました。多数の関札をはじめ、忠臣蔵で知られる浅野内匠頭や吉良上野介の名を連ねた大福帳を見ると、気分は江戸時代へ。皇女和宮や新選組の土方歳三といった名前も見られます。

隣接の楽座館では月に1回、落語会を開催。詳しくは草津宿本陣HPをご覧ください。

さらに西へ進んだところに「草津宿街道交流館」があります。当時の賑わいにふれることができる街道と宿場の歴史館です。町並み模型や浮世絵刷り体験、旅衣装の体験コーナーなどお楽しみももりたくさん。

「立木神社」は、1250余年の

歴史を有する、滋賀県随一の古社

旧東海道に面して鎮座し、古くから交通安全、厄除けの神社として信仰を集めてきました。神木のウラジロガシ

は推定樹齢400年の巨木で、自然記念物として県に指定されています。

境内には県内で最も古い石造りの旧追分道標があります。かつては草津宿の中央に位置する追分の地に建てられていたとみられ、現在の草津追分道標の前身と推定されています。建立は、刻銘によると延宝8年（1680年）、五代將軍徳川綱吉の時代です。京都壬生村のあしだの行者、万宝院という人物が、伊勢神宮と山城愛宕山への7年にわたる毎月の参詣成就を記念、感謝し、建てたものとされています。



立木神社

酒蔵は博物館、 街道の歴史や文化に触れる

通りにはいくつかの酒蔵があります。太田酒造「道灌蔵」もその一つ。お店に古くから伝わるコレクシヨンや伝統の技の見学を通じ、東海道・中山道沿道の商店街がもつ歴史的、文化的な魅力にふれることができます。

旧東海道から酒蔵を南に折れ、山王小路を進むと込田公園が見えてきます。宿場町草津をイメージした和風造りとなっています。

草津宿江戸口見附横町道標にたどり着いたら、そこが「de愛ひろば」の南端です。

ここバエポイント!!

ここバエポイント!!



太田酒造「道灌蔵」

天井川の遺構を活かし、今と昔、人と人を結ぶ

草津川跡地公園 de 愛ひろば

旧草津川は、町よりも高い位置を流れることから「天井川」と呼ばれ、全国的にも有名でした。治水事業として中流域から琵琶湖にかけての草津川放水路が新たに開削されたことで、天井川をなしていた旧河道は廃川。全長約7kmにわたる緑地帯として整備されました。

区間5に当たる「de愛ひろば」は、JR琵琶湖線から市道大16号線までの約0.8kmです。市民活動の場となるにぎわい活動棟やイベント広場をはじめ、フォレスト(森)、ロック(石)な



岩をモチーフにしたロックガーデン



北口に設置された光のピラミッド

ど様々なテーマで整備されたガーデンエリアがあり、人が集い、楽しめる空間になっています。

「クサツコリバ」エリアには地元産品にこだわったレストランやカフェ、ヨガスタジオも

今回のスタート地点となった北端のエリア、クサツコリバには、地元草津産の野菜と近江牛にこだわった本格コース料理や手軽なアラカルトを楽しめるイタリアンレストランをはじめ、窯焼きの本格ナポリピッツアを開放的なテラスで楽しむピッツェリア、またカフェを併設したホットヨガスタジオもあります。地域の皆さんの交流拠点としてだけでなく、草津の観光名所のひとつとしてたくさんの人が訪れています。



旧堤防の道は一周約1.5km



クサツコリバのレストラン